

5

保管方法

非常持出品（食料品）は、出入り口近くなどすぐに取り出せる場所に保管し、いつでも持ち出せるように準備しておきましょう。

避難後、災害復旧までの数日間の生活物資（食料品）は、家屋の倒壊を想定すれば、屋外に保管するのが最適ですが、スペースがなければ家の中でできるだけ頑丈なケースに入れて保管します。

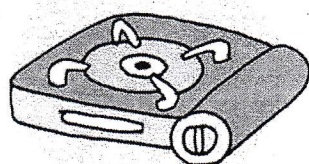
また、自家用自動車のトランクに、缶入りの水やカンパン等を保存しておくで携帯食としても活用できます。

加工食品に表示されている「賞味期限」は失効しても直ちに劣化することはありませんが、年に1度は防災の日や家族の記念日などを点検日に決めてチェックし、次回までに期限の切れる食品は入れ替えておきましょう。

6

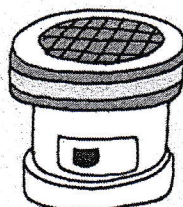
ライフラインがストップした時でも使える調理器具を用意しておきましょう

カセットコンロ
（できれば火力の強いものを）



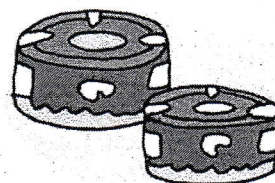
ガスボンベも忘れずに
用意しましょう。
（1本で約90分使えます）

七輪

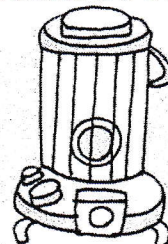


意外に火力も強く
火の調整もできます
木炭も用意しましょう。

缶入り固形燃料



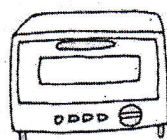
灯油ストーブ
（暖もとれ、熱源にもなる）



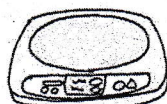
* 煮物は厚鍋を使いある程度火が通れば、タオルなどで巻き、発泡スチロールの箱などに入れ密封すれば、余熱でやわらかくなり、熱源の節約になります。

電気は、ライフラインの中では比較的早く復旧します。
電気が使えるときはオーブントースターや、電子レンジがあれば大変重宝します。

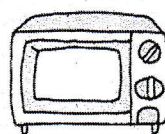
オーブントースター



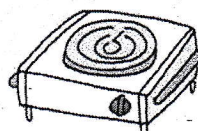
電磁調理器



電子レンジ



電気コンロ



ホットプレート



電気ポット



電気炊飯器

